

令和7年度 沖縄離島体験・デジタル交流促進事業(離島→本島版)

受託:(株)カルティベイト・(株)りゅうせきフロントライン共同企業体

1. 目的

離島の児童(小学5年生)を本島に派遣し、生まれ育った地域に誇りを持ち、離島と本島との相互交流を促進するとともに、地元離島に関する発信力を強化することを目的とする。

2. 実施概要

島外での体験や交流の機会が少ない児童を本島に派遣し、多様な社会を垣間見ることや体験・交流を通じて、島の良さを再発見するだけでなく、将来の夢や目標を描き、首長への発表を通じて、自信を持って人生を歩む力を育む。

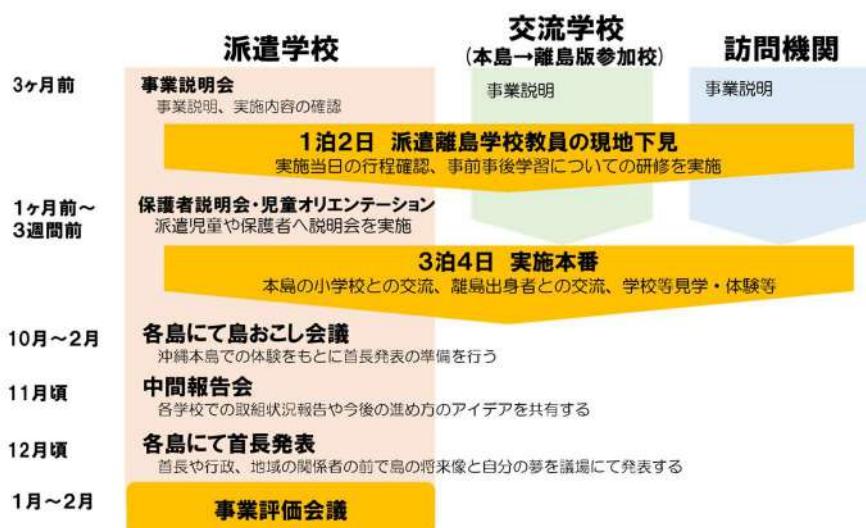
3. 参加学校

3島3校 児童 25名

伊江村立伊江小学校(児童 12名)／久米島町立美崎小学校(児童 8名)

竹富町立黒島小学校(児童 5名)

4. 事業スケジュール



5. 派遣期間

令和7年9月9日(火)～9月 12 日(金)

6. 派遣行程

月日	内容	宿泊
9/9(火)	群星寮見学・寮生との交流会、池田卓氏の講演会	沖縄国際ユースホステル
9/10(水)	沖縄本島の小学校との交流・SDGs ゲーム 沖縄国際大学見学	ホテルむら咲むら
9/11(木)	読谷村周辺の企業等でジョブシャドーイング	
9/12(金)	AIを活用した振り返り作文	－

7. 事業の進め方

ステップ① お友達をつくる part 1

児童の緊張をほぐし、離島体験と一緒に取り組む他島の仲間達との関係性を築くため、アイスブレイクや学校紹介、おやつ交流会を行います。



ステップ② 群星寮体験

一括交付金を活用して、高校がない離島の児童・生徒のために建設された離島児童生徒支援センター「群星寮」。中学卒業後、親元を離れなければ進学することができない児童たちが、安心して将来の夢を描くことができるよう、寮の見学と先輩たちとの交流を行います。



ステップ③ あこがれをつくる

小さい島も本島の遠隔地もないものだらけです。「離島だから」「田舎だから」「不便だから」など、ネガティブに捉えがちなことをプラスに転化し、島で生まれたことへ誇りと感謝を持って活躍するミュージシャン池田卓氏の講演を群星寮の先輩と一緒に聞いてもらいます。



ステップ④ お友達をつくる part 2

本島の小学校と交流・体験します。お互いの地域自慢や学校・自己紹介やSDGsゲームを通じて沖縄や島の未来のために自分たちができる考えを聞いてもらいます。



ステップ⑤ 未来をイメージする

沖縄国際大学の見学を行います。また、施設の案内を可能な限り離島出身者にお願いし、学生生活・悩んだ時の乗り越え方について経験談を話していただきます。



ステップ⑥ 仕事体験をする

本島の企業にて一日仕事体験をします。起業家や様々な活動をする人たちについて仕事を手伝うジョブシャドーイングによって、夢を持って仕事や活動をする大人に触れてもらいます。



ステップ⑦ 振り返り

沖縄本島での体験を振り返り、AIを用いて作文を書いてもらいます。



ステップ⑧ 発表する

派遣を通じて再認識した自分の生まれた島の良さや派遣先での体験を通じて感じたこと、島の未来について考えたことなどを、クラス全員でプレゼンテーションにまとめ、議場にて首長へ発表してもらいます。

